

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第四号

第十一回OB会総会報告

平成十三年五月二十五日(金)
平塚CSセンター

総会 出席者九十四名

進行 山本常任幹事

(一) 高橋会長挨拶

本会も発足以来十一年になりましたが、この間会員が年々増加し、会員総数四七九名となりました。分科会活動と広報活動を通じて会員の親睦をはかり、心身の活性化にお役立ちできるよう努めております。

分科会活動では、本部地区では初の会員作品展を開くことができました。支部や分会においても地区ごとに工夫した活動が生まれてきたことは喜ばしいことです。

広報活動では、OB会だよりの年二回発行とホームページの充実を努めています。ホームページにはOB会だよりには載せきれない記事や最新のニュースを掲載しているのは是非活用願います。

情報連絡ネットワークについては、FAX一斉通信システムが完成しました。FAXをお持ちでない方への第二次電話連絡網のご協力をお願いと合わせて近々その細部をお知らせいたします。

OB会の財政状況は、低金利の

ため基金の運用利子がほとんど望めず、一般会計は赤字が続いています。過去の入会金による繰越金でまだ二年程度は賄えるが、その先は状況次第で皆様にご相談しなければならぬこともあるかと考えています。

三菱樹脂社の経営状況は、先日発表された決算内容によれば、復配実現の由、心からお喜び申し上げますとともに、現役の方々のご努力に敬意を払う次第です。

本総会にあたり、三菱樹脂社並びに関係会社各位からご祝儀を頂戴したことをご報告し、各社に厚くお礼を申し上げます。



(二) 山本常任幹事 会務報告

物故会員報告、長寿者お祝報告、会員状況報告、平成十二年度会計報告、OB会基金報告、平成十三年度予算説明。

(三) 小原会計監事 監査報告

(四) 決算および予算ならびに役

員改選議案について出席者全員異議無くご承認を頂きました。

(五) 黒川幹事 OB会ホームページの説明。

(六) 加藤幹事 情報連絡ネットワークのFAX一斉通信システム試行状況および今後の予定を説明し、実施に伴う協力をお願いしました。

(七) 青木平塚工場長から三菱樹脂の経営状況、平塚工場の状況についてご説明がありました。

懇親会(クラブ湘涛)

出席者九十七名

進行 竹井常任幹事

高橋会長から木下顧問、村松顧問が勲三等瑞宝章を叙勲された旨ご披露がありました。

大和田名誉会長のご発声で、お二人の受章をお祝いして乾杯し、この後懇談に移りました。

再会を喜ぶ人、楽しかった昔話に興じる人、現在の生きがいや熱心に話す人、パソコンやホームページに興味を持つ人、皆様ダイヤサービス社心尽くしの日本酒「湘涛」と楽しい話題で気分良く酔いがまわったようでした。

十八時加藤近畿分会長のご発声で「三菱樹脂社およびOB会万歳」の三唱で中締め、十九時お開きとなりました。

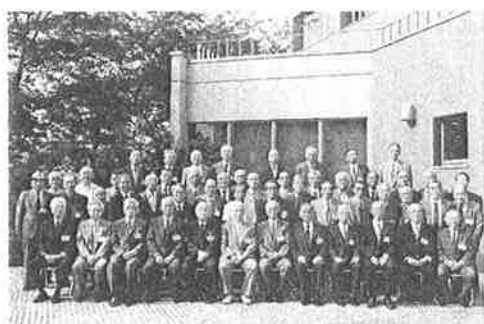
工場見学

参加者七十四名

総会に先立って行われた工場見学は、四班に分かれ、ステンレスパネルタンク加工工場、電気融着継手工場、パーティション加工工場、建設中のアルセツト工場を見学しました。特に電気融着継手工場は工程が完全自動化されていて、皆さんの興味を引いていました。

総会出席者

大和田昇名誉会長、高橋義衛会長、木下英俊顧問、村松壽久顧問、宮部義一顧問
相川武夫、青木貞巳、青山新太郎、明吉章一、麻生昌則、安部彰、荒木秀浩、安藤明義、石川治男、石塚守男、市村義雄、伊藤敬輔、井原利平、岩尾正道、岩崎俊二郎、岩田幸三、岩野利生、大西義夫、大庭忠利、岡秀明、小倉武司、小野博三、小原眞二、鹿島静哉、梶道信、片山弘男、加藤進、加藤敏雄、金内保、金子昇、亀田実、岸川茂、木原仁博、黒川亮、小島孝、合原精一、斉藤進、斉藤多計夫、佐伯清忠、栄谷暢恭、坂上聡、佐古田英男、佐藤昌二、佐藤誠、佐野弘毅、澤田耕輔、塩澤敏行、篠島秀明、柴田弥蔵、島本進、下瀬英樹、杉田為武士、高橋恭明、高林健治、竹井眞一、田中一英、玉木正良、辻輝彦、土屋倭章、豊田安鴻、島居正義、中川実信、中川忠征、永井正義、錦文雄、西林公助、野崎紋壽、野中矩仁、塙宏、原田浩次、姫田四郎、広瀬勉、福井久、藤井正敬、古川國男、町田



富美夫、松尾義光、三原稔、宮下和久、宮武正浩、宮原正衛、宮本二四彦、村田謙四郎、森川栄寿、森口勝、安田久雄、山上章三郎、山口滋、山田守士、山根邦章、山本雄三、吉井靖、嘉永政行、渡部一蔵
(敬称略)

木下、村松両顧問に叙勲

木下英俊顧問は昨年の叙勲で勲三等瑞宝章を受章されました。



木下顧問のお話

「このたびは、はからずも勲三等瑞宝章を賜り大変感激しております。この栄誉は、私個人ではなく、公私にわたり私を支援いただいた三菱樹脂社ならびに皆様方のご尽力によるものと深く感謝しております」

村松壽久顧問は今年春の叙勲で勲三等瑞宝章を受章されました。



村松顧問のお話

「このたびは、はからずも勲三等瑞宝章を賜ることとなり大変感激しております。化学業界をはじめ、多くの諸先輩、関係者の皆様の長年にわたるご指導の賜物と心より感謝申し上げます」

歩こう会

寄席演芸を楽しむ

関東地区 第二十一回歩こう会
平成十三年二月八日(木)

国立演芸場 参加者十七名
定刻の十二時半には全員集合されたので揃って入場。場内の店で買った弁当を開きビールを飲んでくつろいだところで開演。
落語：柳家初花「タヌキの鯉」
落語：三遊亭あし歌「子ほめ」
パントマイム：松元ヒロ「金正日の政治談義」

落語：五明楼玉の輔「倍気の独楽」

声帯模写：原一平「渥美清の寅さん」

落語：三遊亭歌司「小言念仏」
仲入り

浪曲：国本武春「大浦兼武の出世美談」

落語：林家しん平「新作落語」

曲芸：翁家和楽・小楽・和助
落語：古今亭円菊「火焰太鼓」

参加の皆さん浮世離れた楽しい一時を過ごされたようです。この後近くの「えぞ会席」に移りました。先程の雰囲気そのままだと込んで話が弾み、何時終わるのか心配しましたが、十八時半散会。

(吉井靖記)



三菱みなとみらい技術館見学と作品展鑑賞

関東地区第二十二回歩こう会
平成十三年五月二十二日(火)

横浜桜木町ランドマークタワー参加者二十八名
横浜みなとみらい三菱重工技術館見学と県民ホールで開催中の「三菱樹脂OB会作品展鑑賞」を併せて行った。

十二時三十分三菱みなとみらい技術館に入館。スタッフの伊藤嬢が迎えてくれる。田中副館長より「技術館」の概要説明を聞く。平成六年オープンで昨年十月に五十万人来館記録を立てた。

伊藤嬢の説明を聞きながら館内を見学する。

純国産大型ロケットH2のエンジンの実物。深海調査船の内部構造の展示。ドーバー海峡ト

ンネル工事で使用した巨大シールドマシンの模型。原子炉容器、風力発電設備の模型等々を見る。最後にヘリコプター操縦体験コーナーで空の旅を体験する。



十四時三十分「技術館」を後にして神奈川県民ホールのOB会作品展まで約三十分の散策。県民ホールのかなり広い会場一杯にOB会メンバーの力作が展示されている。制作者が身近な人なので鑑賞に熱が入る。

十六時に一応解散した後、横浜中華街の「善隣門」に程近い「華勝楼」で中華料理を味わう。紹興酒でかろく酔うほどに、OB会の中国旅行のこと、今日のヘリコプターの操縦体験、作品展の批評に時を忘れ、予算のことを忘れる。最後に足が出たことをお詫びして十八時散会。

(吉井靖記)

作品展



第一回OB会作品展

神奈川県民ホール・ギャラリ
平成十三年五月二十一日―二十七日 出品者二十二名、作品八十七点、入場者数四六三名
会員の第二の人生の軌跡とも言える作品を展示することで制作者の励みとなり、出品者や来場者の交流をはかる場でもありたいと、作品展を企画しました。来場者からは、出品者の在職中のイメージとは異なる才能に感嘆の声が上がり、作品の質について高い評価を得ました。最終日には出品者全員で、次回に向け互いに精進するとともに、もっと多くの会員に出席を呼びかけることを約しました。次回作品展は同じ会場である二月開催の予定です。

OB会ホームページには出品者全員の作品を紹介しています。(加藤 進記)

ゴルフ同好会

第十六回関西地区コンペ

平成十三年五月十一日(金)

彦根カントリー倶楽部

参加者三十二名

当日は五月晴れのゴルフ日和、遠来ながら皆勤の東野元貞さん、山口滋さん、玉木正良さん三人を含めて大コンペとなりました。小林会長の開会挨拶、新入会員紹介のあとアウト、インに分かれダブルペリア方式で自慢の腕を競いました。



など話つきませんが、次回十月の再会を約して十八時三十分散会。

(森川栄寿記)

第十五回関東地区コンペ

平成十三年四月十九日(木)、大厚木カントリー倶楽部桜コース、参加者十九名

安田久雄さん、宮下和久さん、小倉武司さんが初参加。インスタート直後霧雨に見舞われたが、午後は晴れたので、バックナインでは、プレーヤーのほとんどがスコアを縮める。カートを使用したので、皆さん疲れも見せずプレーを楽しむ。

懇親パーティでは、岡秀明さんからスピーチをいただく。傘寿を過ぎてからもゴルフを継続することの効用をユーモラスに話され一同励まされる。

優勝 岩田幸三

優勝 岩田幸三

プレー終了後、長浜工場の社員会館に移って懇親会となり、激戦の結果が発表され表彰式が行われました。

優勝 岩井文雄さん
準優勝 雨森作仁さん (BG 四四、三六)

第三位 藤居勇治郎さん
プレーの反省、お互いの近況



テニス同好会

関東地区春季大会

四月二十七日(金) 三菱化学粕江コート 参加者十五名

八十四才から六十才まで、平均年齢六十六才のプレーヤーが集まりました。十五ゲームの熱戦が繰り広げられ、篠島・西林組が優勝しました。



ここは負けられぬとばかり、現在の自分の体力を忘れて、右に左に走るつもりが、実際は足

がついて行かず、気ばかり焦り、ボールははるか彼方へといったようなシーンも見られました。五十才を過ぎてから始めた方、あるいは定年後地元元のクラブへ入って腕を上げられた方など、最近では参加者もバラエティーに富んでいます。

十五時には早々とクラブハウスへ。打上げ会では還暦を過ぎた方ばかりにしては大変な元気で、老いなどひとつも感じられませんでした。十六時三十分散会。

秋の大会は十月頃同じ会場で行なう予定です。

(西林公助記)

フォトサークル2000

「第二回撮影会」

平成十三年三月二十一日(水)

青梅吉野梅郷 参加者五名
午前十時中央線立川駅に集合し青梅線に乗り換えて「吉野梅郷」のある日向和田(ひなたわだ)駅で降り撮影場所に向かいました。

期待通りの快晴となり、梅も満開で、絶好の撮影日和でした。

「梅の郷」は秩父多摩国立公園の玄関口である青梅市にあり街全体が「梅のさと」です。約四ヘクタールにわたる梅林で、その数は二万五千本、その中心にある「青梅市梅の公園」には、一二〇品種、約千五百本の梅があります。

重たい機材を担いで坂道を終ったり来たりしての撮影で、終

わる頃にはへとへとでした。
撮影後、立川駅近くの居酒屋で乾杯。店の良さと面白い話で、酒量もついつい多くなりました。二十時散会。

(西林公助記)



趣味、健康、ライフワーク

相撲甚句で

ドスコイ、ドスコイ

平成十一年に西美濃相撲甚句会に家内と共に入会しました。

練習を続け、今では老人保健施設での慰問活動や「決戦関ヶ原・大垣博覧会」等々のイベントにも出演しています。

現在は会長を務めています、家内と参加する施設の慰問で、それまで身体が思うように動かず無表情であったお年寄りが、私達の甚句を聴いて、顔をほころばせ、感激して握手を求めています。



くると、思わずジーンときて、唄っていて良かったと思います。相撲甚句の歴史は、享保年間に、お座敷で覚えた唄を力士が地方巡業で唄ったのが始まりといわれています。三味線や太鼓の伴奏もなく、手拍子に合わせて「ドスコイ、ドスコイ」という合の手だけの素朴な唄で、洪い声、単純な節回しで力士生活、横綱昇進、世相風刺、名所紹介等を唄い込むもので、国技・相撲の重要な脇役と言えるでしょう。

日本相撲甚句会の本部は東京で、日本各地の他カナダにも支部があります。

毎年四月には文化庁・相撲協会・NHK後援の全国大会が江戸東京博物館で開催されます。本場所中の土、日曜にはJRR両国駅内で相撲甚句会のメンバーが甚句を披露しています。

(高橋恭明記)

二〇〇八年大阪オリンピック招致に一役かう

岩井文雄さんが撮影した写真「春の風物詩」が大阪オリンピック招致委員会の写真集「JAPAN」に掲載されました。

二〇〇八年オリンピックの招致をめざす大阪オリンピック招致委員会が外国の方々に日本の大阪と日本人を理解してもらうために作成した写真集です。

岩井さんの「春の風物詩」はもともと「ミノルタ・フォトコンテスト、98」で特選に入賞した写真で、愛知県岩倉市五条川で、染色した鯉のぼりを水洗いしている風景です。

二〇〇八年大阪オリンピックの招致に役立つことを祈っております。

(吉井靖記)



田中一英さん東光会展入選
九州支部の田中一英さんが、昨年に続いて東光会展に入選されました。これで六年連続の入選です。

東京都美術館で四月二十三日から五月七日まで開催された同展はたいへん盛況でした。

作品「せりの前」(八〇号)は、田中さんの好きなテーマの魚市場の情景を描いた大作でした。

(吉井靖記)



OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 四七八名 本部二五八名
関西一六五名 近畿二七名
九州二八名(平成十三年六月十八日現在)

▽訃報

景山明夫会員 平成十三年三月十九日逝去

徳光武敏会員 平成十三年五月十日逝去

田中和明会員 平成十三年六月十六日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

▽長寿お祝贈呈

甘粕慎一さん
石塚守男さん
岩崎俊二郎さん
河原見治さん

渡部一蔵さん

▽東海地区の地区幹事に玉木正良さんが就任

前号で岸川茂さんが就任と記載

しましたが玉木正良さんの誤りでした。謹んでお詫びして訂正させていただきます。

▽郡山工場見学会

十月十八日(木)十九日(金)。

本部地区以外で参加希望の方は事務局へどうぞ。

▽近畿分会懇親会

十一月十八日(日)十九日(月)。

信貴山観光ホテル。

▽関東地区歩こう会

七月三日(火)国立歴史民族博物館(佐倉市)見学。

▽関東地区歩こう会

十一月八日(木)権現山、弘法山(秦野市)ハイキング。



カットは下瀬英樹さんの「東京銀行協会」(水彩 OB会作品展に出展)

編集後記:「OB会ホームページ」「OB会だより お元気ですか」に寄稿をお願いします。旅行、趣味、スポーツ、ボランティア活動、ライフワークなどの話を寄稿してください。この「お元気ですか」には OB 会ホームページに掲載している記事をかなり省略して掲載しています。寄稿者の皆様には大変申し訳ありません。

OB会ホームページのアドレス

<http://www.mrc.mpi-mrc.co.jp/obkai/>

編集委員
市村義雄
加藤進
黒川亮
原田浩次
森川栄寿
吉井靖

TEL/FAX:0463-55-7235
TEL/FAX:03-3709-3610
TEL/FAX:047-447-2881
TEL 045-621-3355
TEL/FAX:0749-63-5307
TEL/FAX:045-811-9390

e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp
e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
e-mail e-morika@gaea.ocn.ne.jp
e-mail yoshiya@skyblue.ocn.ne.jp

発行者:三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F

(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚参 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837